

(様式 2 - 1)

過疎地域自立活性化優良事例表彰推薦調書 (平成 2 2 年度)

都道府県名		市町村名	
-------	--	------	--

1 過疎地域自立活性化優良事例の主体

主体の種類 (該当するものに○)	市町村・一部事務組合等・個人・団体			
団体名 (※1)	(ふりがな)			
氏名 (※2)	(ふりがな)			
職業 (※3)	年齢			
住所 (※4)				
電話番号	FAX			
ホームページアドレス				
電子メールアドレス				
主な構成員 及び人数				
活動地域と過疎 地域の公示状況 (※5)	市町村名	※過疎地域	市町村名	※過疎地域

(※1) 事例の主体が個人以外の場合記載してください。

(※2) 事例の主体が個人である場合は対象となる個人の氏名、それ以外の場合は代表者の氏名を記載してください。

(※3) 事例の主体が個人である場合は対象となる個人の職業、それ以外の場合は代表者の職業を記載してください。

(※4) 事例の主体が個人である場合は対象となる個人の住所、それ以外の場合は対象となる団体の所在地を記載してください。

(※5) 過疎地域欄には、該当する市町村に○印を付してください。

2 推薦理由 (他薦の場合のみ記載)

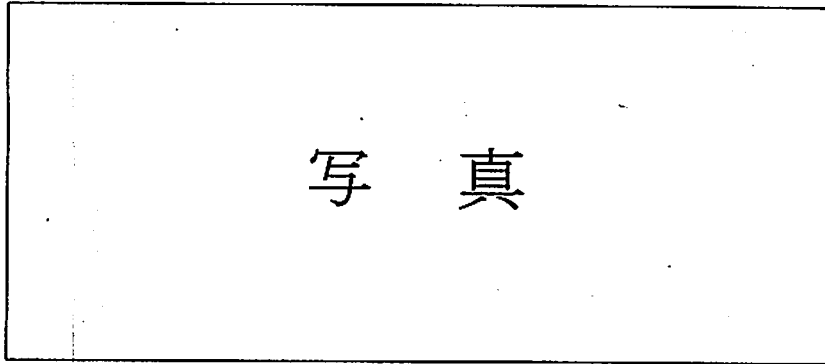
推薦団体名		電話	
記入者		FAX	
電子メールアドレス			
推薦理由			

(様式 2-2) 過疎地域自立活性化優良事例の内容

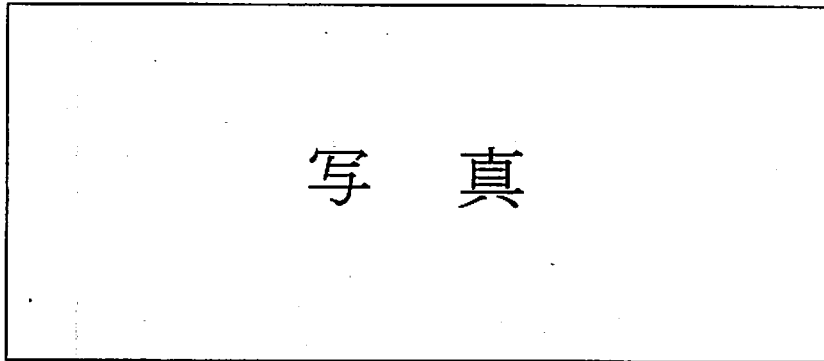
都道府県名

優良事例の主体	
事例の標題 (キャッチフレーズ)	
事例の基本方針 (コンセプト)	
事例の概要	
きっかけ(提案者等)、 取組みに至るまでの 経緯	
実績及び効果	
事業の経費及び財源 の状況	
先進性及び模範性	
地域の特性を活かし た創意工夫がなされ ている点	
自主性・主体性 (住民参加・行政と の協働等の状況)	
取組の継続状況及び 発展性	
今後の取組及び課題	
過去5年間の受賞歴	表彰年度、名称、所管省庁等を記入してください。
その他	特に強調したい点等について記載してください。

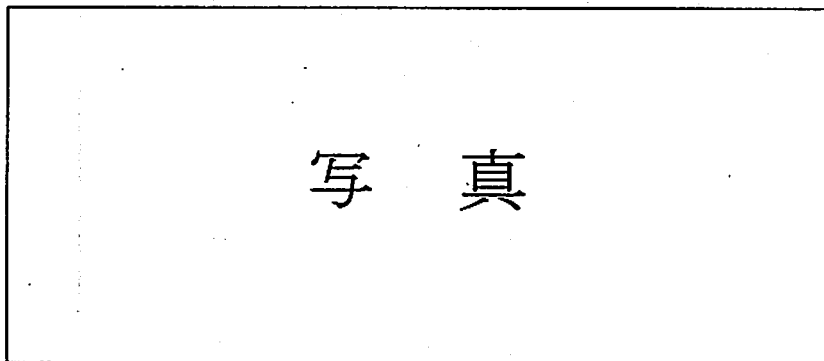
(様式 2 - 3) 過疎地域自立活性化優良事例の内容を示すカラー写真及び説明 (10点程度)



簡単な説明



簡単な説明



簡単な説明

(様式2-2) 過疎地域自立促進活性化優良事例の内容

都道府県名 ○ ○ 県

○ ○ 村

優良事例の主体																	
事例の標題 (キャッチフレーズ)	自然資源を活用した都市との交流																
事例の基本方針 (コンセプト)	<p>○○村の持つ恵まれた自然資源を最大限活かすため、施設整備を進めて観光客を増加させ、売上高の増加と雇用の創出により地域の自立促進を図る。</p>																
事例の概要	<p>○○村では、観光名所である○○を中心にファームガーデン(温泉、参加体験施設、レストラン)やサンビレッジ、クライנגルデンといった地域資源を活かした観光施設の整備を進め、都市住民をターゲットにした交流事業を積極的に展開することで、施設整備を始めた平成○○年度に比べて約10万人多い、年間約45万人の観光客が訪れている。</p> <p>その一方で、○○村ふるさと会員を通じた「ふるさと便」や都市部での物産展を通じて、高原野菜や郷土料理、新たな特産品となった地ビールなどの魅力を積極的に発信しており、野菜出荷組合が組織されるなど地域産業の活性化に貢献している。</p> <p>特に、滞在型市民農園「クライングルデン○○」は、住民参加の委員会でもとめられた地域活性化策を事業化するなど、住民参加による魅力ある地域づくりのモデル事例となっており、従来の観光施設にはない、都市住民と地域住民が農業指導や収穫祭といった交流のもと、特産品づくりなど自主的な活動が生まれている。</p>																
きっかけ(提案者等)、取組に至るまでの経緯	<p>観光名所である○○村には年間約30万人の観光客が来訪していたにもかかわらず、地域への経済効果があまり無かったこと、冬場の観光客が少なかったことが、観光事業の課題であった。</p> <p>そこで、従来の自然景観を楽しむ観光客に、○○村の地域資源をアピールできる施設整備を進めるとともに、都市住民が参加できるイベントを開催するなど、観光を中心とした都市との積極的な交流を図り、地域の活性化を進めることとなった。</p>																
実績及び効果	<p>「都市との交流」</p> <p>○○村を訪れる観光客は年間約45万人を越え、平成10年度に比べ約1.5倍に増加</p> <p>「地域産業の振興」</p> <p>地産地消のもと、特産品開発に地元素材を生かすことで、住民の参加を促し、地域産業の活性化に大きく貢献</p> <p>「雇用の促進」</p> <p>施設の運営をする財団法人○○観光振興公社は売上高で約3億6千万円にまで伸びて黒字経営を続けており、雇用者数が45人となり新たな雇用を創出</p>																
	<p>・観光客数の推移 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>10年度</td> <td>17年度</td> <td>18年度</td> <td>19年度</td> <td>20年度</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>305,000</td> <td>400,000</td> <td>420,037</td> <td>435,700</td> <td>450,020</td> </tr> </table>					年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度	人数	305,000	400,000	420,037	435,700	450,020
	年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度											
	人数	305,000	400,000	420,037	435,700	450,020											
	<p>・施設整備による売上高の推移 単位：千円</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>10年度</td> <td>17年度</td> <td>18年度</td> <td>19年度</td> <td>20年度</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>4,055</td> <td>65,380</td> <td>91,250</td> <td>170,853</td> <td>360,678</td> </tr> </table>					年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度	金額	4,055	65,380	91,250	170,853	360,678
	年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度											
金額	4,055	65,380	91,250	170,853	360,678												
<p>・施設整備による雇用者数の推移 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>10年度</td> <td>17年度</td> <td>18年度</td> <td>19年度</td> <td>20年度</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>40</td> <td>45</td> </tr> </table>					年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度	人数	2	20	28	40	45	
年度	10年度	17年度	18年度	19年度	20年度												
人数	2	20	28	40	45												

事業の経費及び財源の状況	A施設	16年2月オープン 単位：千円			
	事業費	国費	県費	過疎債	一般財源
	689,295	123,000	40,000	460,000	66,295
	B施設 (◇◇事業)	17年4月オープン 単位：千円			
	事業費	国費	県費	過疎債	一般財源
	42,942	21,000	4,500	17,400	42
	C施設 (△△事業)	11年10月オープン 単位：千円			
	事業費	国費	県費	過疎債	一般財源
	578,187	279,000	111,600	172,800	14,787
	「クラインガルデン」	15年4月オープン 単位：千円			
	事業費	国費	県費	過疎債	一般財源
	474,355	230,967	0	195,090	48,298
先進性及び模範性	<p>〇〇村の地域資源を活用した施設整備をするとともに、地産地消のもと地元素材を生かした特産品開発が進んでおり、観光に重点をおいた都市との交流を、地域産業の活性化や雇用の創出に繋げており、過疎地域の自立と活性化の模範となっている。</p> <p>交流居住といった、都市住民への新たな余暇活用の提案である滞在型市民農園では、住民主体の運営による都市との交流という新しい手法に取り組んでおり、団塊の世代対策といった喫緊の課題への対応事例として、今後の展開が期待される。</p>				
地域の特性を活かした創意工夫がなされている点	<p>著名な観光名所を中心に、地産地消に繋げる特産品開発が実を結び、野菜出荷組合が組織化されるなど地域産業の活性化に繋げることができたこと。</p> <p>〇〇村は××圏でありながら、▲▲圏である●●県にも隣接しており、都市住民のターゲットを両圏域としており、都市部での物産展などを各地で開催している。</p>				
自主性・主体性 (住民参加・行政との協働等の状況)	<p>民間企業経営者が参加する財団法人は、地域の資源や人材を積極的に生かす施設運営をおこない、野菜出荷組合が組織されるなど地域の活性化に大きく貢献している。</p> <p>交流居住といった、都市住民への新たな余暇活用の提案である滞在型市民農園では、住民主体の運営による都市との交流という新しい手法に取り組んでいる。</p>				
取組みの継続状況及び発展性	<p>平成11年にファームガーデンがオープンして以降、観光客、施設の売上額、雇用人数が増加しており順調に推移している。住民の自主的な取組に期待するとともに、一方で、ふるさと会員への「ふるさと便」や都市部での物産展といった地域の魅力の発信にも努めている。</p> <p>交流居住といった新たな分野への事業に取り組んでいる。</p>				
今後の取組及び課題	<p>観光と農業が連携した事業展開を今後も取り組んでいきたい。また、こうした取組みが幅広い人に受益がおよび多く村民が潤うようにする工夫が必要。</p>				
過去5年間の受賞歴	◎◎大臣賞 (平成18年度)				
その他	なし				